

加古川市の教育 ICT 環境整備

① 1人1台の学習端末

すべての児童生徒に1人1台端末と授業者用の端末を約22,500台配備。

② LTEでの通信環境

端末はLTE（地域BWA）に対応し、教室だけでなく、地域や家庭でも活用することが可能。

③ 学習コンテンツ

一斉学習や協働学習に対応した授業支援ツール、個々の理解や関心に対応したデジタル学習ツールを導入。

ICTを活かした学びの変容イメージ

- 探究のプロセスにおける様々な場面において、ICTの効果的な活用

Step3 教科等の学びをつなぎ探究する。
社会課題の解決に生かす。

Step2 教科の学びを深める。
教科の学びの本質に迫る。

Step1 「すぐにでも」
「どの教科でも」
「誰でも」活かせるICT

- 大型提示装置に教材等の提示
- 検索サイト等を活用して情報収集
- 学習コンテンツを活用して考え方や意見を共有
- 一人一人の学習状況に応じた個別学習
- 文章の校閲機能を用いた推敲と過程の共有
- 実験・観察・実技を、動画等を使ってより深く分析・考察
- データ・情報の加工や変化の様子の可視化・統合による深い分析

LTEの特徴を活かして

体育館やグラウンドで活用



教室を離れてインターネットに接続して活用することができます。

学校周辺で活用

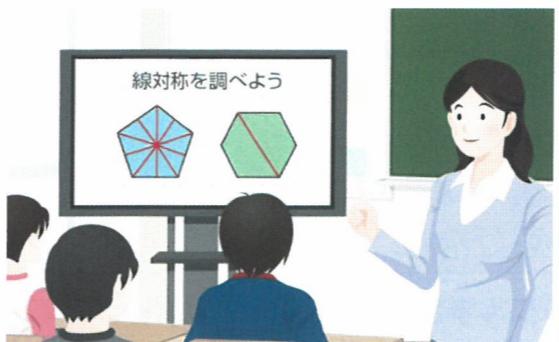
学校周辺の生き物を
Chromebookの
カメラで撮影



かこがわスマートスクールの実現へ

Kakogawa Smart School

1人1台端末は、令和の学びのスタンダード



超スマート社会(Society5.0)を生きる子どもたちに必要な資質・能力を、一層確実に育成できる教育ICT環境の実現へ



これまでの教育実践の蓄積 × ICT = 学習活動の一層の充実と授業改善

これまでの環境

一
斉
学
習

子どもたちの興味・関心・意欲を高めるために、教師が黒板や掲示物等を用いて説明する
(多くの時間と労力を要する)

個
別
学
習

全員が同時に同じ課題で学習する
(一人一人の学習状況や理解度等に応じた学びが難しい)

協
働
学
習

子どもたちが発表し、板書や発表ボードで共有する
(発表する子どもが限られ、全員の意見を聞くことが難しい)

学びの深化

学びの転換

学びの共有

「1人1台端末」の環境

- 視覚的で分かりやすい教材を活用して、学習課題を提示・説明することができる
- 一人一人の考え方や学習状況を把握し、双向型の一斉授業が可能になる
- ⇒子どもたちの興味・関心・意欲の向上と、教員の業務改善につながる

- 同時に別々の内容を学習できる
- 個別の学習履歴が自動的に記録される
- ⇒一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能になる

- 一人一人の考え方をお互いにリアルタイムで共有することができる
- 子ども同士で双向型の意見交換が可能になる
- ⇒一人一人の意見が生かされるとともに、協同探究の時間が確保できる

一斉学習での活用

視覚的で分かりやすい教材を活用して、

拡大提示

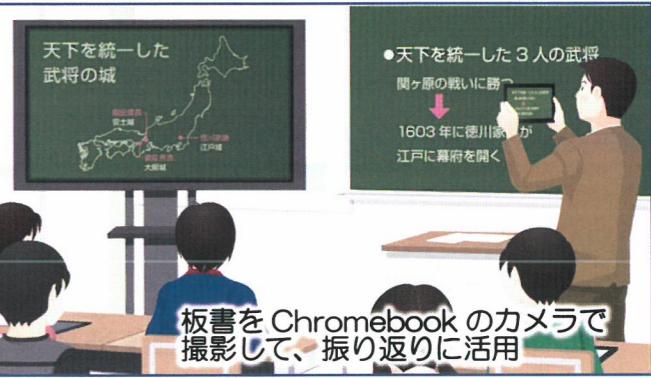


学習課題を提示・説明することで、子どもたちの興味・関心・意欲を高める。

学習状況の把握



授業内容の振り返り



個別学習での活用

調査活動



デジタル教材の活用

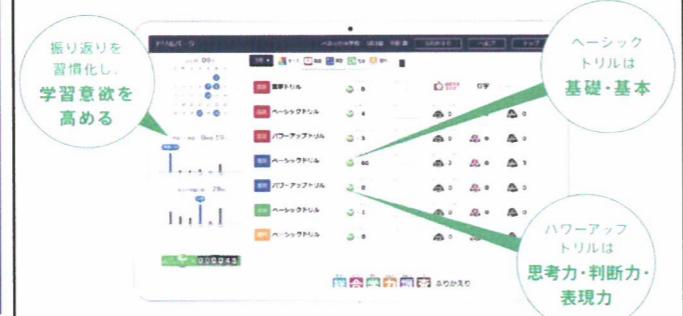


技能の習得・向上



同時に別々の内容を学習することで、子どもたち一人一人の理解や関心の程度に応じた学習ができる。

デジタル学習ツール ドリルパーク



教科書に準拠したデジタルドリル

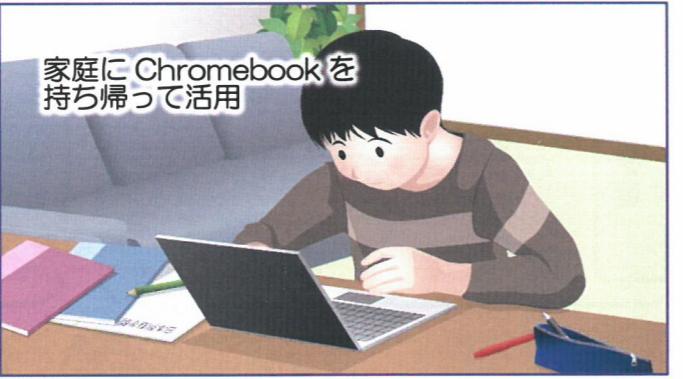
児童生徒の機能

- 自動採点、自動集計
- 繰り返し学習が可能
- ゲーム的要素を取り入れ、よりやる気を促進

先生の機能

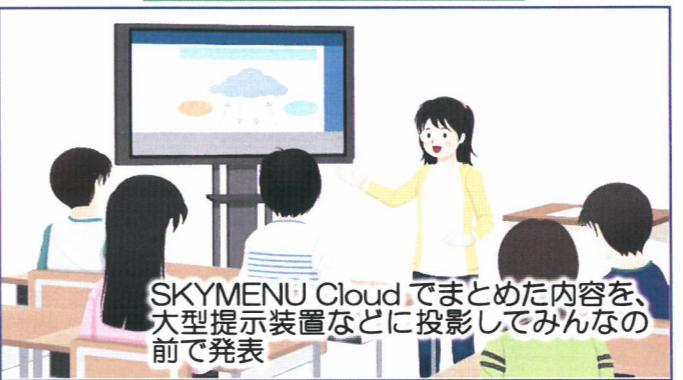
- リアルタイムに子どものつまずきを見発見
- 詳細な履歴管理機能
- オリジナル問題の作成

家庭学習



協働学習での活用

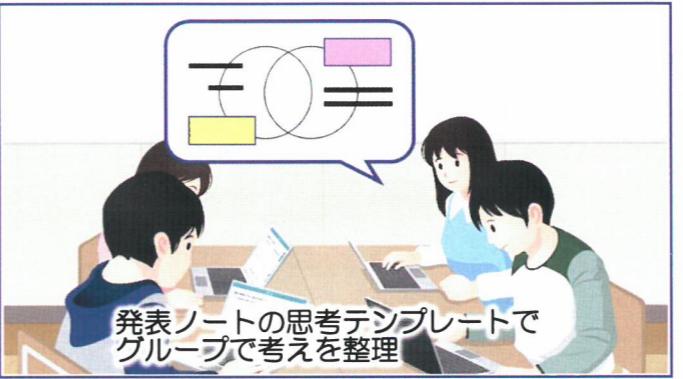
考え方や意見の発表



話し合い



協働での意見整理



一人一人の考え方をお互いにリアルタイムで共有することができる。

授業支援ツール SKYMENU Cloud

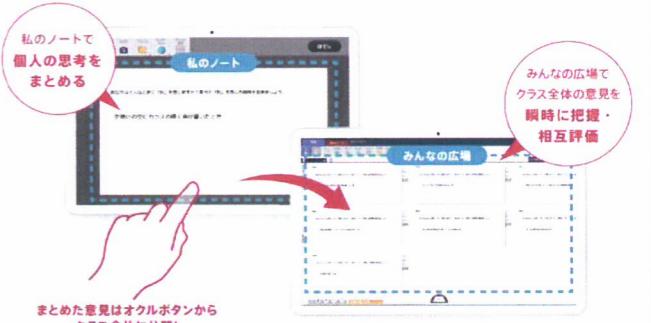
一斉学習や協働学習、個別学習など、さまざまな学習活動の中で活用

機能概要

- マイページ
- カメラ活用
- 発表ノート
- 電子連絡板
- シンプルプレゼン
- ポジショニング
- QRコードリーダー



授業支援ツール ムーブノート



- 全員の意見見える化
- ワークシートを多彩搭載
- 多彩な集計機能で全員参加型の授業を実現